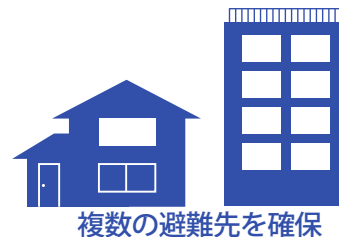


① 日頃から非常時に備えておきましょう。

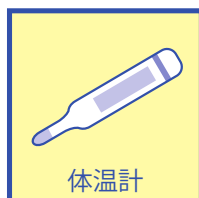
●避難先の確保

避難所にこだわらず、安全な場所にある親戚や知人宅など、複数の避難先を確保し、分散避難を考えましょう。



複数の避難先を確保

●用意しておくもの



- マスクがないときは、鼻と口を覆える大きさの手ぬぐいやハンカチでも代用できます。
- アルコール消毒液がないときは、ウエットティッシュでも代用できます。

② 手洗いと咳エチケットに気をつけましょう。



③ 避難所生活を考えておきましょう。

●避難所の集団感染を防ぐために

市では市民の皆さんが安心して避難生活を送れるよう、感染対策用品の確保や、避難所の運営方法の見直しに取り組んでいます。これからの新しい避難所運営にご協力をお願いします。

施設に入る前に健康チェック



検温、健康チェックシートの記入をお願いします。

症状の有無で居住スペースを分離



発熱等の症状がある人と症状のない人で居住スペースを分けます。

ソーシャルディスタンスの確保



段ボールのパーティションや簡易テント等を設置し、間隔を確保します。

●避難所の運営に参加

コロナ禍では、感染拡大を防止するために外部からの現地支援は受けにくいことが予想されます。

そのため、症状のない人や体力がある人はぜひ積極的に避難所の運営に参加しましょう。

一人ひとりの協力により避難所の衛生環境も早く整い、感染リスクを抑えることができます。

みんなで運営するこれからの避難所

1. 共用スペースの掃除、消毒	2. こまめな換気	3. 救援物資の仕分け

小中学校などに行くことだけが避難ではありません。
「避難」とは「難」を「避」けること。下の4つの行動があります。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認してください。

市が指定した広域避難所への 立退き避難

自ら携行するもの

- ・マスク
- ・消毒液
- ・体温計
- ・スリッパ 等

小・中学校など



安全な親戚・知人宅への 立退き避難

普段から災害時に避難
することを相談して
おきましょう。

※ハザードマップで安全か
どうかを確認しましょう。

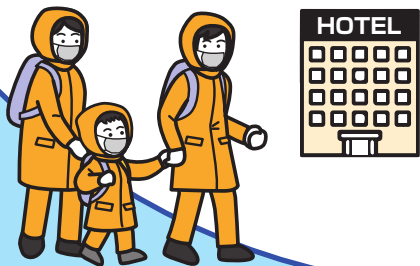


普段からどう行動するか決めておきましょう

安全なホテル・旅館への 立退き避難

通常の宿泊料が必要です。
事前に予約・確認しましょう。

※ハザードマップで安全か
どうかを確認しましょう。



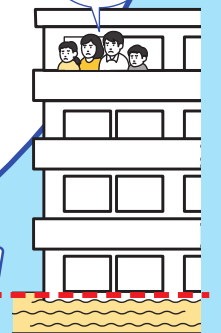
屋内安全確保

ハザードマップで以下の
「3つの条件」を確認し
自宅にいても大丈夫かを
確認することが必要です。

想定最大浸水深

※土砂災害の危険がある
区域では立退き避難が
原則です。

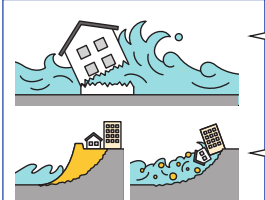
ここなら
安全!



「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です。

①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない

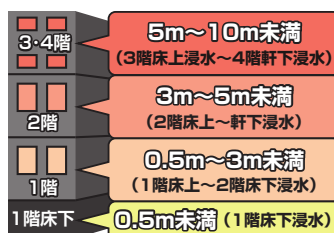
入っていると…



流速が早いため、
木造家屋は倒壊する
おそれがあります

地面が削られ家屋は
建物ごと崩落する
おそれがあります

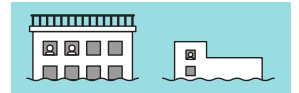
②浸水深より居室は高い



③水が引くまで我慢でき、
水や食料などの備えが十分

十分じゃないと…

水、食料、薬等の確保が困難になるほか、電
気、ガス、水道、トイレ等の使用ができな
くなるおそれがあります



※水がひくまでの時間(浸水継続時間)は市の防災ハザードマップに記載がありませんので、滋賀県防災情報マップをご確認ください。